

今回は、回復期リハビリテーション看護師の活動についてお話しします。



## 回復期リハビリテーション看護師とは

回復期リハビリテーション病棟において、患者さん及びその家族に対する質の高い看護の提供や、多職種との協働とチームアプローチの実践などを行うことができる看護師の育成を目的として、回復期リハビリテーション病棟協会が主催した研修を修了した看護師です。

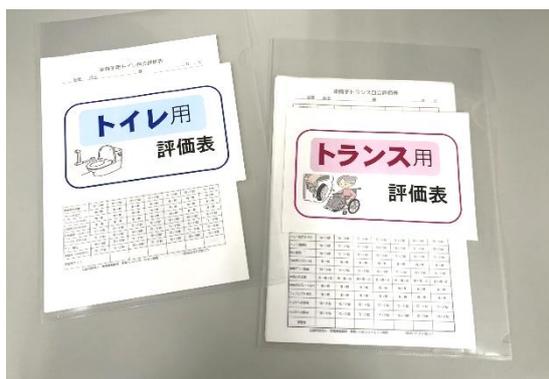
2023年4月現在、当院には8名の回復期リハビリテーション看護師が在籍しています。

回復期リハビリテーション病棟では、退院後、ご自宅での生活に向けて、日常生活動作(食事・排泄・入浴・更衣など)が一人でできるようリハビリに取り組んでいる患者さんが多くいます。



そんな中、車椅子での  
〈トイレ動作〉と〈トランス(移乗)動作〉は、  
一人でできる(自立する)ようになって転んでしまわないか、  
判断に悩むことがありました。

そこで、  
リハビリスタッフと協働して、**評価表**を作成しました。



- ・車椅子ブレーキ忘れはないか
  - ・ふらつきはないか など
- チェックする項目をあげました。

この評価表を活用して、  
自立の検討ができるようにしました。

これによって、  
スタッフから

リハビリ以外の  
様子が一目でわかる

具体的に  
検討できる

などの感想が出ています。